

## 平成 26 年度 豊橋技術科学大学同窓会 第 2 回役員会 議事録

日 時：平成 26 年 7 月 30 日（水）18:30～21:20

場 所：駅前サテライトオフィス

出席者（13 名，敬称略）：

古野会長

高嶋顧問

1 系：関下（旧 1 系），田崎（旧 2 系）

2 系：稲田（旧 3 系），川島（新 2 系）

3 系：山本（旧 4 系），加藤（旧 7 系），小林（旧 7 系）

4 系：栗田（旧 8 系）

5 系：松尾（旧 6 系）

オブザーバー：CIE 松田先生，CIR 大門先生

配布資料：

1. 海外同窓会の組織化・活性化に向けての現状と課題（高嶋）
2. 豊橋技術科学大学同窓会役員会 海外支部について（関下）
3. 総会案内ハガキ文面案（山本）
4. ホームページ&メーリングリスト（松尾）
5. 平成 26 年度技科大同窓会修正予算（案）（稲田）
6. 業務委託について（田崎）

議 題：

1. 海外同窓会組織について（関下，高嶋）（資料 1、資料 2）

資料 1 補足説明

・昨年度、インドネシア、メキシコでもイベント（パーティ）を行っている（大学主催）。

・2005 年の設立準備会議には、同窓会からもオブザーバーとして出席している（佐藤、加藤）。

・大学としての狙い：卒業生のアクティビティ・プレゼンス・ネットワークを活用して、大学のグローバルなアクティビティを上げたい。三機関連携の予算がある間（三年間）に、立ち上げを行いたい。

・同窓会としては、OB 自身のメリットになるような組織作り・活動をしたい。

## 懸念

- ・国内同窓会と海外同窓会の関係・位置づけ
- ・海外同窓会設立WG（仮名）への同窓会の関わり（役員等）

## 2005年設立準備会議での問題

- ・同窓会の独立性，活動資金の問題，会費に対する会員のメリット
- ※今でもそのまま問題として残っている。

- ・インドネシア同窓会組織とは連携が取れていない（予算措置もない）
- ・現在でも同窓会として活動継続できているかどうか分からない
- ・今回の動きを機に再構築

---

- ・海外同窓会を立ち上げることに對しての異論はない
- ・同窓会としての独立した組織をしっかりと作る
- ・大学との役割分担・関わり方の案を大学側へ要望
- ・WGの同窓会委員として高嶋顧問に動いていただく

## 資料2 会則改訂

### 追加

- ・10条の3「(6)(7)の業務担当については、任期1年で再任を妨げないものとする」

会則の改訂について承認。

## 資料5

12月海外同窓生交流会への古野会長の参加出張予算措置を承認。

## 2. 同窓会業務外部委託について（田崎）

### 資料6により現状報告

- ・業務委託による支出を予算に計上し、予算案を変更

### 大学との名簿の共同管理についての覚え書き・規約

- ・電子化に伴い変更が必要
- ・OB教員（特別会員）の情報を扱えるように変更
- ・大学にどの程度の権限を渡すか？要検討

## 3. 本年度総会準備状況について（山本）

- ・ハガキ文面の修正
- ・Web への掲載 (8/2 まで)

4. オープンキャンパス (8/23) イベントについて (山本)
  - ・事務局が対応 (昨年度と同様に)
  - ・来年度へ向けての企画を考える
    - 「同窓生のつどい」から入学希望者への技科大アピールの場へ
5. メーリングリストおよびホームページの更新について (松尾)
  - ・昨年度と同様の総会出欠報告ページを設置。懇親会への出欠を追加
  - ・総会案内のメール一斉送信を検討
6. 旧系予算の本部一括管理について
  - ・旧系の残額が把握できた
  - ・有効活用を考える必要がある
7. その他
  - ・感本先生の幹事退任を承認
  - ・海外支部代表幹事の選出について議論した